

ニュースレター

2026年6月号

ニュースレターの発行が約4ヶ月ほど空いてしまい、毎月楽しみにされていた皆様には大変ご心配をおかけいたしました。クリニックは変わらず元気に診療を続けておりましたが、今月よりまた皆様に役立つ医療情報をお届けしてまいります。

新しく院長に就任した前田陽子先生は、アンチエイジングやがん治療に関する最新医療に精通した、非常に優しく、情熱を持った若いドクターです。

水上先生が築き上げてきた「患者様に寄り添う温かい医療」の理念をしっかりと受け継ぎながら、若い先生ならではのフットワークの軽さとフレッシュな視点で、クリニックに新しい風を吹き込んでくれます。



【名誉院長からのご挨拶】

2026年3月より名誉院長となり、院長の座には、信頼できる大切な仲間である前田陽子先生に就いていただきました。

前田院長も、最新の医療知識を持った、非常に熱心でフレッシュな先生です。二人三脚でより良いクリニックを作ってまいります。

私自身も院内におりますので、見かけた際にはぜひこれまで通り、お気軽に声をかけてください。

新しく生まれ変わった当院を、これからも温かく見守っていただけますと幸いです。

ミトコンドリア（エネルギー製造工場）活性療法の組み合わせが始まります

名誉院長 水上 治

新しい場所に移り、癌や難病の治療もリニューアルされました。

各細胞に数百個のミトコンドリアがありますが、左図は正常細胞のミトコンドリア、右図はがん細胞のミトコンドリアです。破壊の程度がひどいほど、悪性度が高いのです。もし壊れかけたミトコンドリアが正常化できれば、がん細胞が正常細胞に戻ることが期待できるし、悪性度も改善します。今大変期待されているのが、がん細胞のミトコンドリアを活性化して、がんの悪性度を改善し、正常細胞化することです。

ミトコンドリアの活性化はいくつかあります。最有力がラジウム療法（ラドン吸入）で、ミトコンドリアの活性化が証明されています。

次が水素吸入で、これもミトコンドリアが活性化します。

世に先駆けて当院が提案するのが、ラドンガスと水素ガスを同時に吸う療法です。両者によるミトコンドリア活性化が相乗効果をもたらし、単独よりもはるかに効果が出るのは当然です。

超高濃度ビタミンC点滴療法は増えた過酸化水素によって、がん細胞を破壊するとともに、正常細胞のミトコンドリアを活性化して、細胞を元気にし、生命力を上げ、免疫も上げます。

結論としては、ラドンと水素の吸入でがん細胞のミトコンドリアを活性化し、ビタミンC点滴で正常細胞のミトコンドリアを活性化して免疫を上げることで、がんを治癒に導こうとする最新医療です。

また、ミトコンドリアの活性化は、難病の改善が期待できる数少ない方法です。



正常細胞のミトコンドリア がん細胞のミトコンドリア

高濃度ビタミンC 点滴療法



がんとは何か？

がんは単に「細胞が異常に増える病気」ではありません。免疫の監視をかくぐり、自分専用の血管を作り、周囲の環境を自分に都合よく作り変えてしまう、非常に賢く複雑な「全身の病気」です。

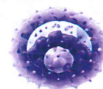
がんの主な特徴



免疫の監視から逃れる



自分専用の血管を作る



周囲の環境を変える

現在、世界の研究者たちは「がんの生存戦略（14の特徴）」を定義し、これらをどう打ち破るかを研究しています。その中で複数の生存戦略を「同時かつ多角的に」攻撃できる治療法として、再び世界中の科学者から注目されているのが「高濃度ビタミンC点滴療法」です。

「飲む」と「点滴」では、まったくの別物

ビタミンCは摂取方法によって、体の中での働きが大きく異なります。



サプリメント（経口）

腸からの吸収に限界がある
⇒余分なものは尿として排出

血中濃度は一定以上に上がらない

体を守る働き

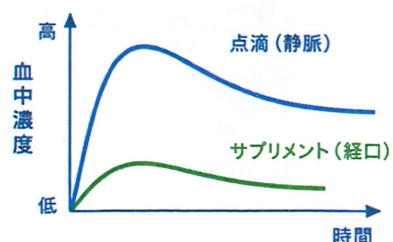
抗酸化物質（さび止め）として作用

点滴（静脈投与）

直接血管に大量のビタミンCを投与
⇒血中濃度が通常の何十倍に

超高濃度ビタミンCに

がん細胞の周囲でのみ
強力な攻撃物質に変化



高濃度ビタミンCが、がんに効く「9つのメカニズム」

～最新の研究で明らかになった、高濃度ビタミンCの多角的な作用～

① がんの「エネルギー源」を破壊する

ビタミンCががん細胞に取り込まれ、活性酸素を大量発生。エネルギー工場を破壊し、がん細胞を餓死させます

② 異常な血管を正常化する

いびつな血管形成を抑え、血管を正常化。抗がん剤や免疫細胞ががんの中心部まで届きやすくなります

③ 免疫システムを覚醒させる

がんの「隠れ身の術」を無効化し、T細胞やマクロファージを活性化、免疫の攻撃力が高まります

④ 狂った「遺伝子のスイッチ」を元に戻す

異常なメチル化でオフになった良い遺伝子のスイッチのふたを外し、再びオンにして細胞を正常な状態に近づけます

⑤ 再発の原因「がん幹細胞」を狙い撃つ

がん細胞のエネルギー源を断ち切り、再発の火種となる親玉を弱い細胞に変化させ、死滅に追いやります

⑥ がんの「自滅スイッチ」を押す

がん細胞に、強い酸化ストレスを与え、アポトーシスやフェロトーシスなど、複数の自滅スイッチを作動させます

⑦ バリアを作って転移を防ぐ

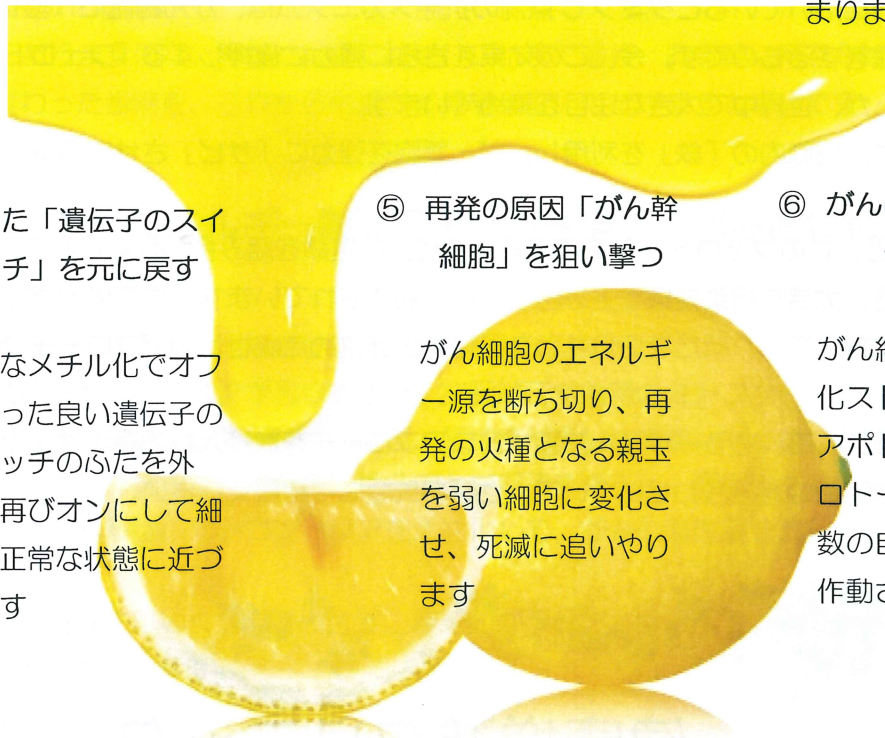
コラーゲン生成を強力に促し、がんの周囲に頑丈な壁を作り、がん細胞が転移するのを物理的に封じ込めます

⑧ がんを育てる慢性炎症を鎮める

炎症を引き起こす物質の放出を抑え、がんの成長を助ける炎症の肥料を取り除き、がん細胞にとって居心地の悪い環境を作ります

⑨ 腸内環境とがん周囲の酸性化を改善する

腸内の善玉菌を増やし、がん周囲の酸性環境を中和、免疫力の土台を整え、全身のコンディションを底上げします





【新院長からのご挨拶】

この度、健康増進クリニックの院長に就任いたしました前田陽子です。 水上先生が築いてきたこのクリニックで、皆様の治療に関わらせていただけることを大変光栄に、そして身の引き締まる思いでいっぱいです。水上先生が大切にされている、患者様との信頼関係を守りつつ、皆様がさらに安心して治療を受けられるクリニックを作っていきたいと考えております。どんなに小さなことでもお気軽にご相談ください。

スタッフ一同、これまで以上に皆様に信頼されるクリニックを目指してまいります。

新しく生まれ変わった健康増進クリニックを、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

フェロトーシス誘導療法

院長 前田 陽子

皆様に現在お受けいただいているビタミンC点滴の抗癌メカニズムは、がん細胞に「酸化ストレス」を与えて攻撃する治療をするものです。今、この効果をさらに強力に後押しする「フェロトーシス」という新しいメカニズムが、世界中で大きな注目を集めています。

フェロトーシスとは、細胞内の「鉄」を利用し、がん細胞を強力に「サビ」させて自滅に追い込む現象です。

ビタミンCの働きと、このフェロトーシスによる「サビ」の連鎖を組み合わせることで、がん細胞の弱点をさらに強く突き、大きな相乗効果を生み出すことが期待されています。従来の治療に耐性を持ってしまったがん細胞に対しても、新たな切り札となる可能性を秘めた次世代のアプローチです。

今の点滴治療にプラスして、もう一歩進んだ積極的なアプローチを取り入れてみませんか？
より詳しい仕組みや治療の組み合わせについて、ぜひお気軽にご相談ください。

健康増進クリニック

TEL : 03-3237-1777

Email : info@kenkou-zoushin.com

定休日：水・土・祭日

※月に2回日曜午前診療あり